

ライフステージごとの支援

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳 年少	5歳 年中	6歳 年長	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	19歳	20歳	成人以降				
行き先・通い先	乳幼児健診						小学校 通常学級 特別支援学級 通級指導教室						中学校 通常学級 特別支援学級 通級指導教室			高等学校 特別支援学 校高等部			大学 短大 専門学校 就職 福祉的就 労など							
	保育園				幼稚園		学童保育						特別支援学 校中学部													
	病児保育																									
相談機関	保健センター（健康推進課）																									
	福祉サービス総合相談支援センター																									
	子育て支援課、 飛騨子ども相談センター																	福祉課								
									学校教育課						県教育委員会											
	保健所 病院 各相談支援事業所 飛騨圏域発達障がい支援センター NPO 法人サン・はぎわら																									
																		ハローワーク就業生活支援センター								
福祉サービス その他	児童発達支援																									
									放課後等デイサービス						作業所など											
	ヘルパー 短期入所 一時預かり ナイトケア 日中一時 移動支援など																									

※ライフステージごとに相談に応じる機関の詳細は、子育て便利帳をご覧ください。

どこに相談したらよいか分からないときは・・・

「高山市福祉サービス総合相談支援センター」

電話:0577-35-3002

にご相談ください。

発達のみやす

この資料は、子どもが発達していく過程を示しています。

大きく「体が自由に動くようになる過程」「手を使って道具を使えるようになるまでの過程」「言葉を話すようになる過程」「自分の判断で行動を決定するまでの過程」と4つに分けて示しています。

子どもは、生まれた時の体重や身長も、それぞれ違います。育つ環境も違います。発達していく速度にも個人差があります

各項目の幅については、この発達していく速度の個人差を表しています。例えば、粗大運動の「寝返り」という項目をみてください。4か月になってすぐできる子もいれば、7か月前にできる子もいます。これが個人差です。早く早くと焦ることはありません。

発達には個人差がありますが、発達の順序は同じです。どういう過程で発達していくのかを見通してください。

また、この表は、お子さんの月齢に合わせて、その時期その時期にみてください。もし、7か月になっても寝返りができないなど、各項目の右はしの時期になってもできない時は、市の健康推進課（電話 35 - 3160）に相談してください。

予定日より早く生まれたお子さんは、予定日から数えた月齢でみてください。

